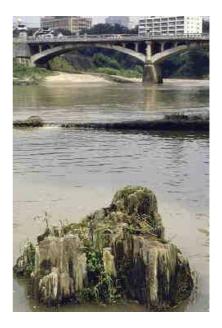
科学をもっと知ろう!

## セコイア類化石林時代

広瀬川の霊屋下セコイア類化石 林は、約300万年前の噴火により流れてきた火山灰の下に埋まった立木が、珪化木や埋木(長く地中に埋もれ、炭化した状態の木)などになって残ったものと言われています。昭和38年の調査ではも30cm以上のものだけの形では35本確認され、これだけの形で保存されている例は世界でも珍いようです。その貴重なものです。その貴重されています。現在では堆積した土砂によって埋まっているために1本くらいしか確認はできないようです。



この後、海になったところに堆積してできた地層が大年寺層です。 この地層は、おもに砂岩・シルト岩よりなり、その分布は青葉山~大 年寺周辺と青葉区芋沢地域に限られています。貝化石を多く含み、そ のほとんどは、内湾の浅海にすむ現生種です。現在房総半島よりも南 方に分布している種も含まれているので、現在よりも暖かかった海で あったと考えられます。

